

議会だより



冬桜(フユザクラ)

桜には色々な種類がありますが、全般の花言葉は「精神の美」「優れた教育」その中でも冬桜は「冷静」。意外にも日本では法定の国花はなく、皇室の家紋のキクが広く親しまれていますが、サクラは事実上の国花として扱われています。(高浜町坂田)

contents

- | | | | |
|--------|------------|---------------|--------------|
| ◇トピックス | …………… P2~4 | ◇一般質問 | …………… P7~12 |
| ◇採決一覧表 | …………… P5 | ◇各委員会報告 | …………… P13~19 |
| ◇質疑・討論 | …………… P6 | ◇議員と語ろう会／編集後記 | …………… P20 |

平成27年度一般会計補正予算を可決! 10事業 約12億8,500万円について 平成28年度に繰越して事業を実施

平成27年度一般会計補正予算では、新規事業として、地方創生加速化交付金など国・県の補助金を100%活用(町負担なし)した以下の事業を実施します。

- 移住定住総合情報バンクの運営、ポータルサイト構築、旧塩屋の活用などに……………2,637万円
- 若年医療専門職の移住(医住)を目指した
全国初のコミュニティケア特化部門の創設などに……………1,193万円
- ブルーフラッグ認証を契機に海浜施設の環境整備や
ライフセーバーアカデミーの開校などに……………4,155万4千円
- 役場新庁舎、青郷小体育館、若狭消防署高浜分署の
放射線防護機能を付加する改修工事と資機材等の整備に……………6億317万5千円

平成28年度一般会計当初予算を可決! 骨格予算ながら大型の継続事業により 総額140億5,455万5千円の町政最大規模となる

平成28年度一般会計予算は町政最大規模の予算となりました。新庁舎公民館の建設事業費の平成28年度分が約26億円となり、福井和郷への平成28年度分補助金15億円、中央体育館整備事業に約19億円などの支出で全体の予算が膨らんだ結果です。

- 新庁舎公民館の事務机、イス、書棚等の家具備品類の購入に……………1億4,305万6千円
- 公共施設の現状調査と長期的な視点に立った施設全体の管理計画の策定業務に……………1,317万6千円
- 有線放送(高浜町CATV)設備の新庁舎への移転工事に……………4,266万円
- 総合行政システムデータセンター移行(システムのクラウド化)、
セキュリティ対策などに……………6,115万円
- 水難救助艇の更新に……………1,200万円
- 和田地区(一区、車持区)防火水槽整備工事と消防ポンプ庫移設に……………2,330万5千円
- 防災行政無線等の新庁舎への移設工事に……………6,490万8千円
- 防災行政無線拡声器(和田、若宮、東三松の各海水浴場)の増設工事に……………2,885万1千円
- 吉坂本堡塁の国指定史跡を目指した測量調査および図面の作成に……………656万7千円
- 和田公民館建設に向けた実施設計業務と旧公民館の解体工事に……………7,674万1千円
- 中央体育館建設事業に……………19億3,695万9千円

文責/小幡憲仁

平成28年度当初予算決定!!

医師・看護師・薬剤師の地域ケア業務を推進！

TOPICS

トピックス

近年、診療や看護、調剤などの訪問サービス／在宅ケアの需要が高まっており、地域主体の健康づくり活動として、コミュニティ（地域）ケアが注目されている。そこで、和田診療所の井階医師が主体となり、若狭高浜病院にコミュニティケアセンターが設置されることになった。

病院職員としての安定性を確保した上で（週4日の院内臨床業務＋週1日の地域ケア業務）、地域ケア活動に専念して取り組んで頂ける方を現在募集している。

人口減少対策の一環として、医療専門職のIターン・Uターン（＝医住）の増加につなげることも期待している。

今後、医療専門職の方が、高浜町に来て頂けるよう、この取り組みを応援していきたい。

文責／井上順也

全国初の
コミュニティケアセンター設置

町内残存の吉坂本堡壘及び吉坂附属堡壘とは？

TOPICS

高浜町六路谷に明治時代に舞鶴軍港を守るために設置された要塞砲台であり、現在も石積・土塁等その歴史の一部が残っている。

この度、文化庁による幕末から第二次世界大戦終結ごろまでの近代遺跡調査の一環として、全国の遺跡50カ所が選定され、その一つとしてこの2つの堡壘も重要遺跡としてリストに入った。



遺構（入口付近）



遺構（弾薬庫）

高浜町では、教育委員会が中心となり本遺跡を高浜町の貴重な歴史的財産と考え、将来の国指定に向け平成28、29年度を通じて国の補助を受け測量業務を実施する。

高浜町の新たな歴史的観光名所の一つとして町内外の皆さんに注目されるよう事業を進めていく。乞うご期待！

文責／西野朋宏

新たな
歴史的観光スポットに焦点を

平成28年9月末竣工に向けて 順調に進む建設工事



新庁舎公民館建設事業の現状

■有線放送設備等新庁舎移転工事

新庁舎の建設に伴い、自主放送設備、データ放送設備等の関連設備を旧庁舎から新庁舎に移設する。

有線放送ケーブルの耐用年数が来た時、経済性を考慮し、一部旧庁舎に残す。

■電話交換機設置業務

新庁舎公民館に電話交換機を設置する。この交換機と各出先機関の接続は、旧CATV回線から光回線となり大容量化される。PHSも更新時期を迎えるので新設する。各課、各出先機関の使用料も個別に分かり、負担額が明確になる。

■行政システム管理事業

業務継続性の観点から、更新時期を迎えた総合行政システムをクラウド化する。高浜町にある総合行政システムサーバーを保守業者が管理しているデータセンターに移行してセキュリティを向上させる。

情報系システムの仮想化基盤を構築する。各種ファイルはファイルサーバーに保存し、更新やバックアップを行う。各種情報にアクセス可能な個人名やグループ名を制御サーバー(ADサーバー)に登録する。ウィンドウズの修正プログラムは、制御サーバー(WSUSサーバー)を通して適用する。これ等複数のサーバーを2台の物理サーバーに集約(仮想化)して、サーバー導入費、保守管理費、電気料、ウィルス対策費を軽減する。セキュリティ対策ソフトウェアを導入し、不正アクセスを防ぎ、USBで持ち出そうとしても暗号化されているので安全。



■新庁舎公民館備品購入

職員の健康面にも配慮され長時間座っていても疲れ難いイス、灯りの反射による目の疲労が起きにくいようなデザインの机を採用。公民館、庁舎の事務方、議会と町長等の3グループに分けて発注する。

文責/釣本音次

3月15日/議会全員で新庁舎公民館建設現場の確認を行った。

議会の傍聴にお越しく下さい



事前予約は不要です。当日お越しただけで傍聴できます。

次回定例会は6月です。お待ちしております。

高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710



3月定例会では以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第6号	平成27年度高浜町一般会計補正予算(第5号)	予算決算	全員賛成で可決	P2・6・14
議案第7号	平成27年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	厚生文教	全員賛成で可決	P2・13
議案第8号	平成27年度高浜町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第2号)	厚生文教	全員賛成で可決	P2・13
議案第9号	平成27年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	厚生文教	全員賛成で可決	P2・13
議案第10号	平成27年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)	厚生文教	全員賛成で可決	P2・13
議案第11号	平成27年度高浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	総務産業	全員賛成で可決	P2・16
議案第12号	平成27年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	総務産業	賛成多数で可決	P2・6・16
議案第13号	平成27年度高浜町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	総務産業	全員賛成で可決	P2・16
議案第14号	平成27年度高浜町水道事業特別会計補正予算(第2号)	総務産業	全員賛成で可決	P2・16
議案第15号	平成28年度高浜町一般会計予算	予算決算	賛成多数で可決	P2・6・14
議案第16号	平成28年度高浜町国民健康保険特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	P13
議案第17号	平成28年度高浜町国民健康保険診療所特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	P13
議案第18号	平成28年度高浜町後期高齢者医療特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	P13
議案第19号	平成28年度高浜町介護保険特別会計予算	厚生文教	全員賛成で可決	P13
議案第20号	平成28年度高浜町簡易水道事業特別会計予算	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第21号	平成28年度高浜町公共下水道事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P6・16
議案第22号	平成28年度高浜町集落排水事業特別会計予算	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第23号	平成28年度高浜町公有水面埋立事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P6・16
議案第24号	平成28年度高浜町宅地分譲事業特別会計予算	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第25号	平成28年度高浜町水道事業特別会計予算	総務産業	賛成多数で可決	P6・16
議案第26号	高浜町行政不服審査法施行条例の制定	総務産業	全員賛成で可決	P16
議案第27号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定	総務産業	全員賛成で可決	P17
議案第28号	高浜町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P17
議案第29号	高浜町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P17
議案第30号	高浜町青葉山健康長寿の里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P17
議案第31号	高浜町下水道条例の一部を改正する条例	総務産業	全員賛成で可決	P17
議案第32号	高浜町産業育成基金条例を廃止する条例	総務産業	全員賛成で可決	P17
議案第33号	高浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	賛成多数で可決	P6・13
議案第34号	高浜町介護保険条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P13
議案第35号	高浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに高浜町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P13
議案第36号	高浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	厚生文教	全員賛成で可決	P13
議案第37号	福井県市町総合事務組合規約の変更	総務産業	全員賛成で可決	P17
議案第38号	高浜町まちの駅の指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で可決	P17
議案第39号	高浜町駅併設観光振興施設の指定管理者の指定	総務産業	全員賛成で可決	P17
諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	-	全員賛成で同意	-

本会議での質疑・討論

質疑 議案第6号

栗野明雄議員

ブルーフラッグ推進事業で、インバウンド観光推進とあるが、言葉が通じないがどのようにするのか。

産業振興課長

指差し会話帳などを使いコミュニケーションを図りたい。

討論 議案第12号

反対討論 釣本音次議員

現在進行中の上水道送水工事が終了後、不要となる旧配管を利用すればシンプルで安い設備が出来る事は、一般質問で述べた。汐入川流域の区域、特に低い所では絶大な威力を発揮する。何故これが理解されないのか不思議に思う。自信を持って反対する。

賛成討論 栗野明雄議員

雨水調整池は現在工事中である。戻れない。湯谷には雨水調整機能を果たす池があった、その代換えである。旧配管は耐震性に劣る。

質疑・討論 議案第15号

小幡憲仁議員

町税収入を大幅に増額見積もりしているが根拠は。また、町税の歳入増により臨時財政対策債の借入は不要ではないか。

総務課長・副町長

発電所安全対策に伴う大規模償却資産の増加で町税が約2億円超増収する。普通交付税の不交付団体となることも予測されるため臨時財政対策債の借入は必要性を検討する。

反対討論 渡邊 孝議員

新年度予算は原発に大きく依存している。原発の危険性の代償であり、不安定、不健全である。

賛成討論 山本富夫議員

28年度は骨格予算の中で約140億円と大型予算との指摘があるが、大型の継続事業が約60億円と、通常予算であれば約80億円が妥当な予算である。原子力関連交付金などの歳入は地場産業として確立された健全予算である。人

権政策など先進的な取り組みは引き続き継続すべき施策であることをもって賛成とする。

賛成討論 井ノ元康夫議員

土木費、柿ヶ渡線新設事業 測量調査設計業務委託料1億1033万円が、予算計上されている。この町道は、舞鶴野原港・高浜線の複線化に重要な避難道路であり長年地区区長会から要望されていた。周辺状況と重要性を十分理解され予算計上された事を高く評価して賛成する。

討論 議案第21号

賛成討論 小幡 憲仁議員

湯谷雨水調整池整備は綿密な雨量データと専門的な検討結果に基づき事業実施したものであり適正。なお、反対意見で表明された旧の上水道管を利用した雨水の移送も逆転の発想で検討の余地がある。

討論 議案第23号

反対討論 渡邊 孝議員

青戸入江の埋め立て工事には目的に問題があるとして反対してきた。

賛成討論 小幡 憲仁議員

既に整備した埋立事業費の起債の償還金の予算計上であり適正。

討論 議案第25号

反対討論 渡邊 孝議員

加入金は資本的収入ではなく、営業利益として収益的収入に入れるべきである。

賛成討論 小幡 憲仁議員

水道加入金を資本的収入とすることだけで予算を反対すべきとは考えないが、営業収益で計上している事業者もあり現在の会計処理の検証も必要。

討論 議案第33号

反対討論 渡邊 孝議員

保育士は国家資格が必要な専門職である。不足を理由に保健師、看護師等で置き換えるのは問題である。

賛成討論 小幡 憲仁議員

高浜町で保育基準緩和の必要性は低い、国の基準に基づき町の基準を緩和することは、合理的である。



水産庁の補正予算と 今後の取り組みについて

答弁 ニーズを確認し町独自の補助制度を検討

磯部 武史 議員

【磯部】

省工ネエンジン導入補助について国の27年度補正予算は、他市町の漁協との広域連携が新たな採択条件に追加された。

しかし、おおい町ではすでに県と町による補助制度で36隻がエンジンの更新を終えている。

独自の政策で、おおい町と同様の補助を行うべきではないか。

【産業振興課長】

国の事業が前年度に前倒し実施となり補正予算待ちの状態であったが、27年度補正予算では新たに広域連携という条件が加わり新たな課題が生じることが懸念される。

漁村青壮年連絡協議会において、中心的な担い手の皆さんと意見交換を行った。

多くの方が20年以上経過したエンジンに修理・修繕を重ねて使用している現状を確認している。

まずアンケートによりニーズを確認し、事業費の算定や補助率、年次計画など前向きに検討していく。

◆サル対策、篠山市の取り組みについて

【磯部】

篠山市では専門家の協力のもと、群れの数、群れの規模、行動範囲などしっかりと現状把握し先手を打つ対策により効果を上げている。

先日、篠山市に協力されている先生が町内で講習会を行われた。

町内には7群れ生息し、群れの規模も大きく篠山市と比較しても危機的な状況だと言われている。

町の対策と合わせて、この先生を定期的に招き入れアドバイスを受けてはどうか。

【産業振興課長】

鳥獣害対策総合計画協議会を設立し対策を強化する中で、協議会にアドバイザーとして入っていただくことも検討する。



再稼働交付金25億円は立地に

答弁 県に立地への交付を要請する

山本 富夫 議員

◆原子力発電所再稼働後の歳入編

【山本】

①再稼働後に地域交付金(原子力発電施設立地地域基盤整備支援事業交付金)が5年間で25億円が確保できるが立地に交付されるのか。

【総務課長】

再稼働した発電所が立地する道県に対し、事業採択を受けた年度から起算して6会計年度を超えない範囲内で、計25億円を限度に交付されるスキームで立地が100%交付されるよう県に要請する。

【山本】

②平成28年11月9日で終了予定の福井県核燃料税交付金(第8期)分は一部事業財源見込みがないが9期の計画はどうなるのか。

【総務課長】

第9期に向けての制度設計を検討しており、改正条例は、6月県議会への提案に向け準備を進めるとのこと。

当町経済の活性化や雇用の確保

などに財政的支援を要する状況に何ら変わりは無く、その実情は既に県の担当部局にも伝えているところ。

◆再稼働後のまちづくり(歳出編)

【山本】

①情報インフラWi-Fi(インターネット無線LAN)を観光、防災の観点から全町に整備する考えは。

【総務課長】

28年度に新庁舎公民館、ブルーフラッグ認証予定の若狭和田海岸に設置予定で観光の国際化対応や防災を含め十分に協議・検討を進める。

【山本】

②薬草拠点の青葉山ハーバルビレッジが開設されるに伴い、町道中山観音寺線の道路幅員を拡幅するべきでないか。

【建設整備課長】

重要な路線と認識しており、生活、観光道路として測量調査を検討する。



既設防災倉庫の設置場所は妥当か

答弁

町民の生命を第一に考え、
適宜見直し追加する

西野 朋宏 議員

【西野】

現在町内に設置されている防災倉庫を見回っていると、和田青戸の入江付近に設置されている倉庫や、南区郷土資料館横に設置されている倉庫について、災害発生時にその設置場所が要因で十分に活用できない可能性が高いのではと考えられる。今一度防災倉庫の設置場所の選定方法について伺う。

【防災安全課長】

本町では、現在防災倉庫が8カ所、防災資機材については5施設に備蓄されている。この設置場所については、有事の際に迅速な対応ができるよう、地域の拠点となる避難所を中心に、危険性の有無についても最大限に考慮し選定している。また、災害等により防災倉庫が機能しない場合は、民間企業との災害支援協定に基づき、避難所に資機材等の提供を受けることになっている。

◆高齢者福祉対策について

【西野】

高齢化の波が押し寄せる中、その社会問題の一つとして、「買い物困難者」の問題が挙げられる。地域商店の閉店に伴い、住民から困苦の声を耳にする現在、この問題の解決に向けた行政の取り組みについて伺う。

【保健福祉課長】

本町では、「地理的・交通機関の状況」、「本人・支援者の状況」の2つの観点から問題解決に取り組んでいる。前者としては現在、赤ふんバスの運行により高齢者に対しての移動手段の充実を図っている。また後者としては、介護保険及び障害福祉制度等の公的サービスの利用、社会福祉協議会による生活支援事業等を利用することで本人・支援者の負担を減らす事ができる。しかし、自治体だけで応えるのは困難なため更なるソーシャルキャピタルを推進し、地域力を高めていく必要がある。



平成28年度の獣害対策について

答弁

28年度に協議会を設立する

井ノ元 康夫 議員

【井ノ元】

平成28年度の獣害対策について次の3点について質問する。
①平成27年度町内全集落で行われた調査をどのように対策につなげて行くのか。町内4地区での説明会を予定しているが、各集落での問題点は違うと考える。集落単位での説明会で、個人の対策に対する理解が重要ではないか。
②県が行った調査と管理計画については町内の現状と、県の管理計画に大きな差があると感じる。町内状況を把握して「地域実施計画」の策定が急務ではないか。
③鳥獣被害対策協議会の設立については町内各種関係団体での協議を考えているが、各地域状況を理解して的確に指導出来る専門家、研究者など実績のある方も重要ではないか。

【産業振興課長】

①集落の現状を把握し、集落の対策内容を改善する事。また「総合計画」の基礎資料とする為であり、集

落単位での説明会の要望があれば対応して行く。

②「地域実施計画」を策定し発信機を使った群れの把握調査を実施する。

③本年度「鳥獣被害総合計画」を策定する際に町内の方で構成する協議会を設立する。その委員に学識経験者、専門家のアドバイスを検討している。

当事者間の役割分担を明確にし、また「恒久柵に関する検討」「捕獲追払い体制の構築」「電気柵設置に対する補助制度の改善」等について実施と検証、改善を繰り返す体制を構築して行く。

【町長】

現在まで自助、共助、公助の考え方で対策を行ってきた。自助に限界があり、農作物被害だけではなく、町民全体の問題であり、町全体の対策として考えて行く。



小学校の英語授業について

答弁 英語学習を一層強化

廣瀬 とし子 議員

の送迎時駐車場がなく危険である。

【廣瀬】

各小学校の5、6年生の英語授業に担任とともに、アシスタントとして外国人ALT（1名）配置されている。この事業を低学年にも英語に親しむ機会を設けてはどうか。学力の向上に、ALT（1名）を増やす考えはないか問う。

【教育長】

福井県では、これを2年前倒しで平成30年度から実施する。その他の学年の総合的な学習や行事にALTが参加する形で外国語活動に参加して、更に空き時間や給食の時間を活用し、1・2・3年生とも過ごすように活動している。児童にも大変好評である。

◆高浜町立保育所の移転について

【廣瀬】

高浜保育所は築30年を超えており、施設が老朽化している。施設の管理は専門業者が定期点検を実施しているが、園児を安全安心に過ごせる環境が必要である。園児

の送迎時駐車場がなく危険である。

【保健福祉課長】

今後、高浜保育所の移転等を検討して行く上で、認定こども園への移行も含め、「高浜町子ども子育て支援事業計画」期間内の平成31年度を目途に庁舎跡地整備計画と併せて協議・検討する。

◆地域医療の充実について

【廣瀬】

医師・看護師不足がつついていくが、この状態で地域医療が出来るのか不安を感じる。医師・看護師の確保が必要である。住民が安心してかかれる医療でなければいけない。どう考えているか。

【保健福祉課長】

地域医療体制の確保や環境整備、医療従事者の人材育成を図っている。医師に選ばれる魅力ある医療機関を目指す。より一層地域医療の充実を図っていく。



高浜町の防犯施策の充実について

答弁 防犯カメラは、

実現可能な方法を検討する

井上 順也 議員

望者に設置無償化できないか。

【保健福祉課長】

平成28年2月末現在、80台が設置されている。広報たかはまなどの周知を前向きに検討する。

【町長】

設置の減免対象者については、所得額についても考慮して、減免できるように検討していく。

◆選挙投票率の向上策について

【井上】

当町の投票率は、町議選、国政選挙など低下傾向である。参議院選挙から18歳以上の方の投票が可能になる。お年寄りの方や若者が期日前投票しやすいよう、土足で投票できないか。

【総務課長】

スリッパを履くときの、椅子を用意する。町長選より事前の期日前宣誓書のダウンロード化する。

【町長】

機動的に対応できるものは、しっかりやっていく。



高速道路のトンネル内避難対策は

答弁 常時広報に努めている

栗野 明雄 議員

【栗野】

舞鶴若狭道が開通したが、非常にトンネルの多い区間である。安全対策は当然とられていると思うが、住民に広報し予備知識を得て頂く事が必要だと思う。最大の安全対策は、4車線化である。進捗状況は？

【建設整備課長】

50m間隔で押しボタン式通報装置、200m間隔で非常用電話が設置されている。火災の場合は初期消火に努め、手に負えないときは、避難用トンネルや反対車線に繋がる非常口より避難をする。4車線化は国交省に要望している。

【栗野】

4車線化については一定の交通量が必要とされる。高速を利用する運動はするののか。

【町長】

趣旨はわかるが、小浜線との兼ね合いがあるので難しい。

◆青葉山麓の薬草栽培の現状は

【栗野】

高浜町と東京生薬協会が薬草の栽培技術の協定を結び、現在は、栽培中である。地場産業となるように指導する事がこれからの高浜町にとって必要である。

【産業振興課長】

現在まで、6回の栽培技術の指導を受ける事ができた。町内4カ所で栽培中である。採算性・品種については検証中である。平成28年度中には重点作付け品種について、町民の皆様へ披露したい。

地場産業

への転換については営業農座談会などで周知したい。



薬草試験栽培場所（高野区）



再稼働による新たな

「地域振興交付金」活用の検討は

答弁 町の発展に寄与する活用の為に、

国・県に要望している

上尾 徳郎 議員

【上尾】

各種電源交付金や国・県の支出金など、今後の財源について伺う。
① 国県の支出金の主な事業と28年度電源地域対策交付金の限度額は。
② 電源立地地域対策交付金の「みなし稼働率」と再稼働での算定は。
③ 発電所や福井和郷の設備投資や営業による町税の増収は。

【総務課長・税務課長】

① 電源立地対策交付金は町道柿ヶ渡線・次世代大規模園芸整備補助事業。社会資本整備総合交付金は新庁舎公民館・雨水調整池整備事業。次世代施設大規模園芸導入加速化事業補助金は大規模園芸整備補助事業。核燃料税交付金は水産振興事業・地域医療推進事業。
28年度電源地域対策交付金の限度額は21億7385万1千円。
② 一律81%から28年度以降68%となるが、財政規模の小さい立地市町には影響を考慮し78%で算定。再稼働による実際の発電量の算定は平成30年度からである。

◆ハードからソフト事業への重点施策の課題と転換について

【上尾】

① 漁港整備の進捗状況は。
② 社会福祉協議会の移転協議と「認定子ども園」の協議の体制は。

【産業振興課長】

① 漁協施設の衛生管理型市場の検討。全体施設の配置計画。6次産業施設の事業基本計画を策定し、実施に向けた基本設計へと進めて申請協議や経営計画を確定する。

【保健福祉課長】

② 地域福祉の推進役として社協は不可欠であり、連携した取り組みを移転協議とともに進めていく。

認定子ども園は「子ども子育て会議」において、教育・保育機能と子育て支援事業も併せて、高浜保育所移転も視野に入れ検討する。



原発問題について

渡邊 孝議員

【渡邊】

①「緊急時対策所」建設について原発の重大事故で中央制御室が機能不全になった場合の代替施設である「緊急時対策所」の建設を、関西電力は「耐震性」でつくる計画である。耐震性では、建物は壊れなくても内部の重要な機器、設備が損傷する可能性がある。「免震性」であれば地面の揺れが建物に伝わることを自体を抑えるためそのような事態を免れる。免震性にするよう申し入れるべきではないか。

②広域避難計画に関して国の「地域原子力防災協議会」の内容はどのようなものか。それを周知するため住民説明会を開くべきではないか。

【防災安全課長】

①関西電力は、発電所敷地周辺の詳細調査のうえ耐震性を決定した。建物内部の重要機器や設備についても、機器ごとに耐震評価を行っている。

②昨年12月、国の地域原子力防災協議会が開催され、広域避難対策

が確認、了承された。孤立集落の対応、緊急時モニタリング体制、安定ヨウ素剤の配布、避難域時検査場所の候補地などがまとめられた。本町は一昨年、町内各区、団体等を対象に説明会を行った。引き続き必要に応じて住民説明を行っていく。

◆学校給食費について

【渡邊】

子育て支援、父母負担軽減のため、学校給食費の無料、軽減を実施する考えはないか。

【教育長】

学校給食法により、食材費のみ保護者に負担していただいている。一昨年4月の消費税増税の時も給食費を据え置いた。今後も、学校給食法の精神に従い保護者負担のうえ、充実した学校給食を提供していく。



平成28年度に開設が遅れた
病児・病後児保育の見通しを問う

答弁
平成28年度10月までには
必ず開設させたい

小幡 憲仁議員

◆公共施設維持管理方針について

【小幡】

公共施設管理計画の策定にあたり、施設の統廃合・リニューアル、配置見直しの構想を問う。

【副町長】

今回は財政負担平準化の観点から維持管理、更新計画を立て、施設の固定資産台帳を整備する。その後、人口や財政の推計値、広域行政化などを見据えて統廃合やリニューアル計画を策定する。

◆和地区冠水対策について

【小幡】

和地区冠水対策工事の工法や財源確保、実施時期を問う。

【建設整備課長】

これまで降雨量想定、既存施設の能力評価を実施した。平成28年度に対策施設案を立案し、費用対効果を確認し整備方針を固める。早期事業実現に取り組む。

◆ネウボラ事業について

【小幡】

妊娠・出産、子育て期に切れ目なく支援する「子育て世代包括支援センター（高浜町式ネウボラ事業）」について問う。

【保健福祉課長】

切れ目ない支援を実施していくには保健福祉センターの施設面の不都合もある。助産所等での宿泊も含めた産後ケア事業や子育て支援の仕組み構築を検討する。

◆病児・病後児保育事業について

【小幡】

開設が平成28年度に遅れた病児・病後児保育について現状と遅延理由、今後の見通しを問う。

【保健福祉課長】

医療職員体制の調整に時間を要した。実施設計もほぼ終了しており、今後施設改修を実施し、平成28年10月には開設できる。



障がい者スポーツの普及、促進
について、高浜町の取り組みは

答弁 環境整備を含め支援を行っていききたい

兎玉 千明 議員

◆9月定例会一般質問の回答の進捗状況について

【兎玉】

私の参加している「福井若手議員の会」において平成30年開催される、福井しあわせ元気大会について問題の提言を頂いた。当町では、国体は開催されるが、しあわせ元気大会は開催はされない。しかしこれは福井県全体の問題であることから、当町の障がい者スポーツへの取り組み、施策、支援などの考えを問う。また、普及の為に「マラソン」に組み入れる考えはないか。

【教育委員会事務局長】

現状では、直ちに組み入れる事は難しいが、スポーツ参加のハードルが取り除ける様、環境整備等に配慮していく。また大会参加者には激励金などでの支援を行い、積極的に促進イベントなども企画していきたい。

【兎玉】

任前や過去の一般質問などでも理事者側から「前向きに検討」との答弁を頂くが、問題は解決せず、同じ質問を繰り返しているように感じる。9月定例会で行った質問の進捗状況を問う。

【副町長】※町長欠席の為

決して、おざなりにしているわけではない。時間のかかる問題も多く、今後も尽力していきたい。

【産業振興課長】

鳥獣害被害について↓今後とも各施策を継続。水難事故への対策↓監視体制を延長、ライフジャケットの貸し出しを開始、浴客への啓発活動、和田浜以外のライフセーバーの配置の検討を行う。若宮海水浴場の海岸浸食↓既存のT型突堤の横方向部にブロックの延長を、要請により検討していきたい。



平成28年度一般会計額は歴代ダントツ1位
借金約110億円

答弁 継続事業が重なったから

釣本 音次 議員

【釣本】

汐入雨水調整池工事が進んでいるが、これが最善の方法であったのか大いに疑問を持つ。現在、耐震上水道工事が進行中、この工事が終われば既設の配管は不要。汐入川側にポンプを取り付け畑川の所で配管を切断して水を畑川に流せば済む。既設の配管を利用するので非常に安く出来る。1億円も掛からない。汐入雨水調整池2号工事もしらないと考えるがどうか。

【上下水道課長】

既存の配管は、経年化し耐震性も充分でない。2号工事は行う。

【釣本】

経年化について、中国の商時代の青銅器が出土、3000年前の物で鋳物は青銅より耐久性あり。1000年はヘッチャラ。耐久性について阪神大震災時にも破損なし。

◆高浜町の経済の流れについて

【釣本】

医療面では高く評価するが、原

発立地自治体である財源の恵まれた高浜町の経済の流れが芳しくない。お金の集まる所には、人も集まると言う。前回、少し話したがお金の流れ、経済の流れについての様にすれば良いか。

【副町長】

付加価値の高い商品開発、ふるさと納税の活用、ながの農園、大規模農園和郷の先進性農業、漁港整備による収益改善、ゼネコン、原発の仕事も受注しお金の流れを取り込むよう配慮する。

【釣本】

町長の力量が大切。誤れば夕張市の様になる。平成28年度一般会計予算は、歴代ダントツの140億円、借金は約110億円、H27年度は約117億円歴代3位、これでいいのか。

【副町長】

庁舎公民館、中央体育館、和郷の継続事業が重なった。交付金の期間制限も理解をしてほしい。

厚生文教常任委員会

委員長 廣瀬とし子

◇3月11日(金)午後1時より

●議案第7号

■平成27年度高浜町国民健康保険
特別会計補正予算(第2号)

【全員賛成で可決】

●議案第8号

■平成27年度高浜町国民健康保険
診療所特別会計補正予算(第2号)

一般職等の人件費並びに医薬材料費において不用額が見込まれるため更正減額を行っている。診療報酬収入の大幅な減収がみこまれるため、不足額を特別会計から歳入金を増額し調整している。

ジェネリック医薬品について、医師が進めるのか。

初回は患者の同意も必要なため了解をとる。

【全員賛成で可決】

●議案第9号

■平成27年度高浜町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

過年度保険料の納付、保険基盤

安定負担金の決定により、後期高齢者医療広域連合納付金の計上である。

【全員賛成で可決】

●議案第10号

■平成27年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)

地域密着型介護サービス給付費や施設介護サービス給付費など介護給付費において不足が見込まれる事業については、必要額を増額し、居宅介護サービス給付費や特定入所者介護サービス費など不用額が見込まれる事業については、不用額を更正減額である。

【全員賛成で可決】

●議案第16号

■平成28年度高浜町国民健康保険
特別会計予算

【全員賛成で可決】

●議案第17号

■平成28年度高浜町国民健康保険
診療所特別会計予算

【全員賛成で可決】

●議案第18号

■平成28年度高浜町後期高齢者医療特別会計予算

【全員賛成で可決】

●議案第19号

■平成28年度高浜町介護保険特別会計予算

【全員賛成で可決】

●議案第33号

■高浜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業の対象は内浦保育所である。保育所型事業所内保育事業所に勤務する保健師、看護師又は准看護師を1名に限り、保育士とみなすことができる。
・反対討論／保育士以外の方に対することに対して代替は認めない

【賛成多数で可決】

●議案第34号

■高浜町介護保険条例の一部を改正する条例

【全員賛成で可決】

●議案第35号

■高浜町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

平成28年4月1日に介護保険法

が改正される。地域密着型サービスに新たに「地域密着型通所介護」が創設される。利用定員18名以下の通所介護は、平成28年4月1日以降、高浜町内在住の方のみが利用できる地域密着型通所介護に移行する。

【全員賛成で可決】

●議案第36号

■高浜町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに高浜町指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例。

【全員賛成で可決】



予算決算常任委員会

委員長 栗野 明雄

◇3月7日(月)午前9時より

●議案第6号

■平成27年度一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出は8億1553万3千円を減額し、予算総額を歳入歳出116億9086万4千円とする。

【審議の概要】

◆総務費

■ふるさと茶屋の状況について。

当初は理解がされていなかったところがあつたが、理解をされたので事業を進める。

◆衛生費

コミュニティケアセンターの方向性は、拡充・充実を図ると共に、関心を持つ町外の若年医療専門職の移住(医住)を促進し意識向上と医療専門職の確保・人材育成をめざす。コミュニティケアは健康寿命を延ばす医療である。

高浜病院を拠点としコミュニティケアセンターの運営・コミュニティプロバイダーの養成・健康の

まちづくり友好都市交流などを図る。

◆農林水産業費

里海里山ビジネス推進事業は、ミニ農家レストラン、体験交流型農園、ミニ直販所などを支援し農業者の所得向上と地域活性化を図る。東三松地区で実施し、実施者の確認をした。今後は上瀬地区でも実施をしていく予定である。

◆商工費

WiFiファイ(インターネット無線LAN)事業について。

和田浜はフリーワイファイで、新庁舎はジャパンワイファイを考えている。個人が特定できるようにしたいとの事である。



◆消防費

原子力災害時に即時避難が困難な避難行動要支援者のため、屋内避難施設(フィルトリングシステム・機密対策)を青郷体育館・役場新庁舎で施設改修工事が行われる。青郷体育館には備蓄物資・簡易ベツト・トイレなどの原子力防災対策が施される。

●議案第15号

■平成28年度一般会計補正予算

予算の総額は、140億5455万5千円。前年度より25・4%増。過去最大規模の予算となる。これは、新庁舎公民館工事・中央体育館改築工事・次世代施設園芸導入加速化支援事業補助金。これら大型の事業が重なったためである。

今年度は、町長選挙があるため骨格予算となる。継続性のあるもの・必然性のあるものなどは新規事業として、水難救助艇購入・防災無線拡声器増設工事・吉坂本ほるい測

新庁舎公民館建設現場



新庁舎公民館建設現場

量業務・和田公民館実施設計及び解体工事・中央体育館改築工事など、16項目が示された。

◆総務費

地域おこし協力隊6名の内訳について。

3年目が1人、2年目が2人、4月から3人である。まちネット・薬草関係・ブルーフラッグ・ハバルビレッジ・漁港再整備などに従事する。

オンデマンド交通の土日運行の要望について。

この考え方には、アンケート調査をし、対応したいとの事である。70才以上の方が運転免許証を自主返納された場合、申請すれば京都交通かオンデマンドバスか、どちらかのバス券1万8千円分が支給される。



オンデマンドバス

役場職員へメールで連絡をするのにインターネット経由でしかできないが、どうにかならないか。

セキユリティー上の問題があり、国の指針に従っていききたいので理解してほしい。

総合行政システムのクラウド化の確認では、外部に求めていくとの答弁である。

◆人材育成事業補助金は。

原子力発電所が停止中の企業のス킬アップとして行っている。1社50万円を上限としている。

◆民生費

民間の保育所が閉所するが、柔軟性のある対応をしてきたところであったので対応すべきであったのではないかと。行政はもっと深刻に考えるべきである。

◆イベントへの役場職員の参加について。

職員がストレスをため込んでいくとの指摘があり、メンタル面の影響が出ているので対応しているとの事である。

◆青葉苑の同居状況は。今後は町の中心地にあるべきだ。

今後の高齢者対策はそうあるべきだとの答弁があった。

◆和田地区に新しい県道が出来るが、ゴミの収集車は新しい県道を通るのか。

その様にすると答弁があった。シルバー人材センターが観光業をするのには免許が必要なのは。

会員の中に免許所持者がいると

の答弁があった。

◆農林水産業費

◆東三松の土地改良について。

あと少しの人のご理解を得るところであり、平成30年に事業採択の予定であるとの事である。

◆商工費

◆ワイファイの飲食店補助はどれくらいか。

1店舗上限5万円で10件分見ている。

◆AEDの貸し出しは何処へするのか。

浜茶屋を想定している。一般の店へは商工会と相談するとの答弁があった。

◆事代会館に関して工程はどうか。予算は設計額500万円、工事費4000万円も大きすぎる。

概算なので金額の精査をして報告する。また城山の周辺道路の完成は29年6月を予定していると答弁があった。

◆関連して、漁協移転の事に対し、塩土区への説明は。議会の付帯決議で財源が確保されるまでは凍結になっているはずだが、なぜ進めているのか。

説明は一度行っているが早急に

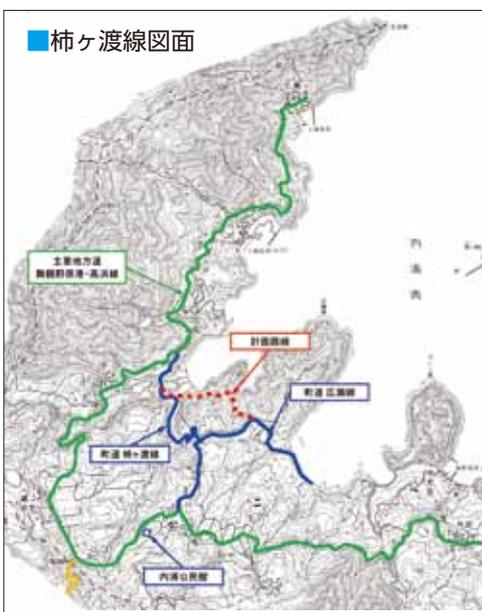
行いたい。付帯決議は生きている。地元で理解を頂いてから報告をしたいとの答弁があった。

◆地域通貨に対して。

商工会が行う赤ふん通貨の事である。プレミアはつかない。

◆土木費

柿ヶ渡線の改良工事は内浦地区からの要望であり避難道路であるとの事だが、財源は国からの道路予算を付けるべきだとの意見が出された。



文化財保護事業で吉坂本ほろいの測量調査が計上されているが、観光資源として活用するべき。

舞鶴市を入れると7カ所あり、舞鶴市と協議をしていきたいとの事である。将来は国の指定も受けたい。そのため2年間掛けて測量調査をしたい。

高浜地区公民館の館長に関して任命をするのかその体制は。また、館長は文化的にも教育的にも長けた人が適任であるので、より良き人選をするように。

との意見が出され、若い人・子どもがキーワードだと思う。今の意見に共感するとの返事であった。

また、原子力関連の収入は子育てや教育に当ててほしいとの要望があった。その他、獣害対策・医療対策・防災対策など多方面にわたって意見が出た。

◆教育費

◆ポリヨンとの姉妹都市の関係は。

高浜小学校は姉妹都市として続いている。行政間はある一定の様子を見ていくとの答弁があった。



総務産業常任委員会

委員長 山本 富夫

◇3月10日(木)午前9時より

●議案第11号

■平成27年度高浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

各施設の点検業務委託等、事業執行において不用となった経費の更正減額。

委員より、ろ過装置についての問いがあり、処理方法について説明を受けた。

●議案第12号

■平成27年度高浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

社会資本整備総合交付額の決定及び管渠布設工事等、事業執行において不用となった経費の更正減額。

委員より、遠方監視システムについての問いがあり、担当課長からポンプ場や、町内一円のマンホールポンプの動作を上下水道センターにおいて集中管理を行っているとの説明を受けた。

●議案第13号

■平成27年度高浜町集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

各施設の点検業務委託等、事業執行において不用となった経費の更正減額。

●議案第14号

■平成27年度高浜町水道事業特別会計補正予算(第2号)

工事費等、事業執行において不用となった経費の更正減額。

排水管移設工事が、なぜ実施に至らなかったとの問いに、関係地権者の同意が頂けなかったという説明を受けた。

●議案第20号

■平成28年度高浜町簡易水道事業特別会計予算

予算規模は、6403万円で、対前年度比5.9%増。

修繕料について、日引地係のポンプ制御装置の修理と山中地係にあるろ過装置の一部取替えであるとの説明を受けた。非常用浄水装置について、川の水やプールの水を、1時間あたり1トン浄化する能力があるとの説明があった。

●議案第21号

■平成28年度高浜町公共下水道事業特別会計予算

予算規模は、10億5277万2千円で、対前年度比39.9%減。

起債の比率について予算上は3%以内となっているが、実際は、

その時点での利率となる旨の説明があった。

工事費について、菌部地係と車持地係に管渠敷設工事を行い南地係には、マンホールポンプ施設の工事を計画しているとの説明があった。

●議案第22号

■平成28年度高浜町集落排水事業特別会計予算

予算規模は、2億5680万4千円で、対前年度比16.7%減。

集落排水管の清掃方法についての質問があり、清掃作業要領に従い、定期的に行っている旨の説明を受けた。

また、平成28年度における送排水管敷設工事の工事場所については、東三松駅前の国道下を行う計画であるとの説明があった。

●議案第23号

■平成28年度高浜町公有水面埋立事業特別会計予算

安土地先土地造成工事に伴う地方債の元利償還分。

予算規模は、1億6408万1千円で、対前年度比31.4%減である。

●議案第24号

■平成28年度高浜町宅地分譲事業特別会計予算

2区画分販売予定で分譲事業費を計上。

予算規模は、1543万円で、対前年度比52.3%減。

坂田グリーンタウンの分譲の実績について、60区画のうち、既に38区画が販売済みであり残りは22区画。平成28年度において2区画の販売を見込んでいる。

●議案第25号

■平成28年度高浜町水道事業特別会計予算

予算規模は、収益的収入および支出で2億4386万9千円、資本的支出1億9712万3千円。

災害に強い水道施設整備として、耐震性送排水管布設に伴う、国道下推進工事費である。来年度の修繕費の内容について井戸の取水ポンプ、監視装置、高圧ケーブル等の取替え修繕を計画しているとの説明があった。

●議案第26号

■高浜町行政不服審査法施行条例の制定

平成26年に公布された改正行政不服審査法の施行に伴う、平成28年4月より新たな制度による関係条例の整備。

審査委員については5名以内とし、当面は3名の委嘱を想定して

いる。審理委員については、請求があれば調査を行い、意見書を作成することが業務である。

●議案第27号

■行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

平成26年に公布された改正行政不服審査法の施行に伴う、平成28年4月より新たな制度による関係条例の整備。

●議案第28号

■高浜町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例等の一部を改正する条例

地方公務員法改正の28年4月1日施行に伴う条例の改正。

●議案第29号

■高浜町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

平成27年度、人事院勧告に基づき一般職職員の給与等についての条例改正。

臨時職員の給与は現行通りであり、高浜町のラスパイレース指数は、平成27年度で90・5となっているが、現在人事評価制度も取り入れながら改善中である。

●議案第30号

■高浜町青葉山健康長寿の里の設置及び管理に関する条例の一部

を改正する条例

青葉山健康長寿の里事業や施設の定義、利用料金の見直し等に対応するための条例改正。

ビクターセンターの利用について積雪のある冬はどのように対応するのかとの問いに、除雪も行い冬場も営業を行うとの説明があった。利用料金に関する問いに、今後指定管理者において、適切な料金の設定を行うとの説明があった。

●議案第31号

■高浜町下水道条例の一部を改正する条例

下水道排出基準が改正されたため、基準準用による下水道条例の改正。

トリクロロエチレンについての改正で、下水道に受け入れ時の基準が強化され、主に工場での部品洗浄に使用されるものであるが、高浜町では問題となるケースはないとの回答。

●議案第32号

■高浜町産業育成基金条例を廃止する条例

高浜町産業育成資金融資事業の終了に伴う当該条例の廃止である。

●議案第37号

■福井県市町総合事務組合理約の変更

構成団体の『武生・三国モーターポルト競走組合』が28年4月1日付で地方公営企業法の全部適用を受け、企業団に移行し名称を「越前三国協定企業団」に変更するため、福井県市町総合事務組合理約の変更をする。

●議案第38号

■高浜町まちの駅の指定管理者の指定

一般社団法人若狭高浜観光協会を指定管理者として提案されたものである。

●議案第39号

■高浜町駅併設観光振興施設の指定管理者の指定

公益財団法人高浜町シルバー人材センターを指定管理者として提案されたものである。

総務産業常任委員会

現地視察

●関西電力(株)

若狭高浜太陽光発電所

この施設は、安土公有水面埋立地東側約8000㎡に、平成26年4月に工事着工され同年11月13日に竣工(運転開始)となった。発電出力は500kWで発電電力量は約50万kWh/年と一般家庭150軒分相当の電力が賄えるようである。再生可能エネルギーとして新たな電力供給施設が設置された点では大きな一歩である。



視察風景

原子力対策特別委員会

委員長 栗野 明雄

◇3月15日(火)午前9時より

規制庁より、地域原子力規制総括調整官小山田氏を招聘し、高浜1・2号機の審査状況の説明を受けた。規制庁には裁判所から技術的問い合わせがあったのかとの問いになかった旨の答弁があった。

大津地裁の判断は4号機のトラブルも影響していないとの事だった。1・2号機の審査については、新規制基準に適合することに加え、

1・2号機運転にともなう3・4号機の変更も加わる事になる。

審査の特徴は、①非難燃ケーブルへの対応。②原子炉格納容器頂部遮へい設置。③原子炉下部キャビティ直接注水設備の設置。その他1〜4号機共通の施設などの課題である。その後、関西電力より大塚所長・森法務部長らから、現状報告を受けたが、大津地裁の判断について多くの意見が出された。

大津地裁の判断に対し次の意見が述べられた。

『1年間にわたり資料を提出してきたのにこの結果か。』

『運転停止がいつまで続くのか、早く再稼働を。』

『裁判官の質の低下を感じる。ネットではデマを流されたりする。県外での広報を要望する。』

『町民がわからなければ県外の人はわからない。』

『生まれたときからあるのにこのような事は悲しい。』

『電気代が下がらない結果を踏まえ、損害賠償を訴えるべき。』などの意見が出され立地が振り回されている様子。困惑している様子が浮き彫りにされた。

『大津地方裁判所の判断は、規制委員会が許可を与えた事実をもって主張・立証があったとはされない。』

『関電が主張立証を尽くさない限り申立人の人格権が侵害される恐れがある。』

『関電は、新規制基準への適合のみを根拠として安全を主張しているのではなく裁判所は誤認している。』

など、新規制基準の制定経緯・非常用電源・使用済み燃料ピット・地震・災害対策など関電は明確に主張立証しているにもかかわらず、裁判所は不当に無視をしていると説明した。

嶺南広域行政組合議会

議員 山本 富夫

◇12月25日(金)

敦賀市プラザ萬象内議場

第3回嶺南広域行政組合

議会定例会

松崎管理者から議案1件が上程。

●議案第8号

■平成26年度嶺南広域行政組合一般会計歳入歳出決算認定

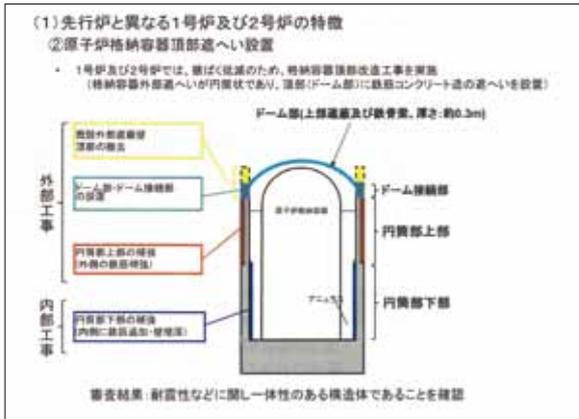
平成26年度の一般会計歳入総額10億3731万7639円で歳出決算額は、10億3624万5714円となり、差引き107万1925円となった。

議員から特に質疑・討論もなく慎重審議の結果、

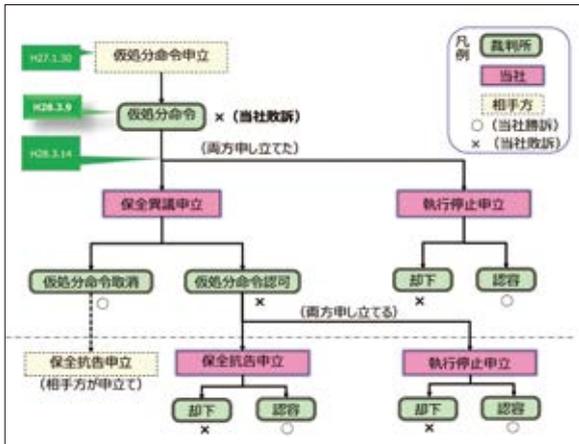
【全員賛成で可決】



今回審査の特徴



今後の手続きの流れ



人口減少問題対策調査 特別委員会

委員長 山本 富夫

◇3月14日(月)午前9時より

今回は、人口減少対策の一つである、高浜町に移り住んでもらう「移住定住」事業について議論を行った。

いろんな「移住」のある中で、医療関係者をターゲットとした「医住」について、和田診療所の井階医師から説明を受けた。

新年度予算にも組み込まれた「コミュニティケアセンター運営および「医住」者支援事業」1193万円が予算化された。

内容としては、コミュニティケアに関心を持つ町外の若年医療専門職の移住「医住」を促進することにより、高浜町における医療専門職の確保・人材育成を図ると言うものである。

井階医師による説明のあと、委員と活発な意見交換を行った。

●委員からの意見

・高浜町内の4つの地区で事業を展開してほしい。

・医療関係者に移り住んでもらう「医住」の目標はどれくらいか。
・国からの交付金がなくても行うのか。
などの意見がだされた。

●理事者側から回答

・高浜町が目指す将来像をハッキリと見せることが大事であり、まず、5年間の内で町内の環境を整えていく必要がある。
・5年以降の予算について担保があるわけではないため、慎重に対応していく。
といった考え方が示された。

●総合戦略全体を通じた意見

・もし移住したらの観点ではなく、現に住んでいることに対する施策が重要である。
・町内に、移住の基盤となる仕事があるのか。
・スポーツの加入率が45パーセントもある。頑張っている子供たちなどに文化・教育面で支援すべき。
などの意見も出された。

鳥獣害対策特別委員会

委員長 井ノ元康夫

◇3月14日(月)午後1時30分より

当委員会では、平成28年度予算計上されている鳥獣対策支援業務について、担当課より詳細説明を受けた。

町の対策予算では、現場で行う対策に重点を置き、27年度実施した各集落での調査の内容を地区単位で説明会を行い、電気柵の効果的な設置、追い払いなどを検討して行く。関係機関、猟友会など連携を目的とした交流会の開催などに、514万6千円。

鳥獣被害対策の検証、改善を行い、28年度開催する鳥獣被害総合対策計画策定協議会に結びつけて行くことや、テレメトリ等先進施策の企画・検証、改善結果の追跡調査等に579万2千円。

嶺南有害鳥獣対策協議会からは、サル、シカ等の大量捕獲試験実施や、捕獲檻の貸し出し要望が多くある檻の購入費等が示された。

委員からは、冬季の電気柵はどのようにするのが効果的なのか。

の質問に対して、冬季間でも柵を張り通電しておく事が効果的であるとされているが、地域によって条件が変わる事から、一概には答えられない。

また対策を進める中で、専門的な研究者を招いて指導して頂く事が重要であると考えますが、検討しているのかの問いに、以前に視察を行った際、適任であると思われる方がいる。今後も相手方と調整を行いアドバイザーとして検討して行く。などの意見が出された。

その後、和田みだ地区で改修された、シカ用大型捕獲檻の現場視察を行った。



視察風景

議員と 語ろう会

皆さんの声を
町政に!!

議会をチェックするのはあなたです!!
批判や意見、提言など
自由なご意見をお聞かせください。

※どの会場でも自由にご参加ください。

2会場同時開催



5/10(火) 午後7時30分～

- 高浜地区(瑞祥苑)
上尾副議長、山本議員、井ノ元議員、釣本議員
- 内浦地区(内浦公民館)
横田議長、栗野議員、廣瀬議員、西野議員

5/11(水) 午後7時30分～

- 和田地区(保健福祉センター)
上尾副議長、小幡議員、大塚議員、児玉議員
- 青郷地区(青郷公民館)
横田議長、渡邊議員、磯部議員、井上議員



編集後記

桜咲く時候となり、本年度を振り返りますと、中央体育館の空調議論から始まり、役場の機構改革、塩屋の現状、高浜3・4号機の再稼働など、色々な課題、問題が山積する中でのあつという間の1年でした。

3月定例会においては、28年度予算の審議を行ない、町長選を控える中で骨格予算でしたが、新庁舎建設に伴う継続予算など、過去最高となる140億円の一般会計予算となり、慎重かつ厳正に審議を行ないました。

高浜3・4号機の再稼働については、大津地裁の運転差止め決定により、エネルギーの安全保障や経済活動にも大きな影響を及ぼす結果になった。今後、裁判のあり方にもしっかりと注視してまいりたい。

広報特別委員会

文責 井上 順也

委員長 栗野 明雄
副委員長 井上 順也
委員 小幡 憲仁

釣本 音次
西野 朋宏
児玉 千明